

## 令和6年度第4回青梅市健康づくり推進会議（要旨）

令和7年1月14日（火）  
13時30分～15時30分  
青梅市本庁舎2階会議室

### 1 開会（司会 健康課長小林）

- ・配布資料確認
- ・森田委員、小花委員欠席
- ・挨拶（副市長小山）
- ・傍聴者1名

### 2 意見交換事項（司会 大木会長）

- (1) 青梅市健康づくり推進計画（素案）について  
修正、追加部分の説明。（事務局）

#### 【委員意見】

- ・修正したグラフに歯科の医療費を入れたが、インパクトがないので、疾病別医療費のところには混ぜ込んだ方がよいのではないかと。
- ・歯科はオーラルフレイルからフレイルに繋がる予防すべてにかかるもので、幼少期からずっとやれるので食育を含めて一本筋が通っている。そこをうまく入れてもらいたい。
- ・次の計画のときでも「かかりつけ薬局」のことも書けたらよい。
- ・「健康・食育を支え、守るための社会環境の整備」に「食育」とないのはおかしいのでは。
- ・かかりつけ歯科医を乳幼児期に入れたほうがよい。
- ・外国人や障がいを持っている方などに対して啓発が届くか。個別の対策ではなく「社会環境づくり」で検討できるとよいのではないかと。
- ・健康ポイントアプリについてのコラムを入れるのはどうか。
- ・行政の取組の中に女性特有の検診について入れたほうがよい。
- ・目の健康の記事がないのでコラムなどで入れたらどうか。
- ・「自らの健康情報を入手できる環境整備に務めます」とあるが、具体的に書くべき。
- ・「医療者等との連携」や「職域保険者との連携」などとあるが、各地域のスポーツ団体や地縁の地元の組織で健康づくりに資するようなことをやっていると思うので、そういうのを含めた表記にできないか。
- ・「食の安全・安心」の中で、災害時対応がぼっと出てくるが、ここに入れた理由があるか。「食の安全・安心」で、行政の取組が災害のことだけになっている。順番的に災害を後ろにしたほうが違和感ないのでは。

#### 【事務局回答】

いずれの意見も適時に反映させたい。

#### 【委員意見】

適正体重の維持の数値目標が小学校4年生からで乳幼児期がなくてよいのか。

**【事務局回答】**

乳幼児はこども計画のカテゴリーに入るが、少なくとも中1と小4を選ぶ意味をはっきりさせておかなければいけないかもしれない。

(2) 青梅市いのちを支える自殺対策計画（素案）について

前回会議の素案からの修正事項等の説明。（事務局）

自殺者数、自殺死亡率の数値目標は計画の6ページに国の大綱に合わせて示し、本計画における目標値としては現状値も目標値も出さないということにした。

**【委員意見】**

数値目標、現状値は本当になくてよいのか。

**【事務局回答】**

目標といういい方で人数を出すこと自体が適切ではないだろうという考えである。ただ、事務局の中ではその数字を持っているので減らす努力はしていく構えである。

**【委員意見】**

3の評価が多いので、数字ではなく「○、△、×」の3段階にするとか、評価方法の工夫があってもよい。

**【事務局回答】**

今後検討したい。

**【委員意見】**

推進体制のところは市内の連携やこの会議のことしか書いていないが、保健所や専門家につなげていくこと、サポーター、ゲートキーパー等を増やしていくわけなので、その人たちとも連携していくこと、多様な連携体制をこれからも構築してより充実させていくといったことが書かれるとよい。

**【事務局回答】**

いろいろな場所で気軽に相談ができるような仕組みづくりみたいなものは、地域福祉計画のほうでも検討している。広く連携できるようにブラッシュアップしていきたい。

**【委員意見】**

自殺対策の計画で、市長の写真が笑顔なのはどうか。

**【事務局回答】**

変更を検討したい。

3 その他

次回は令和7年2月27日火曜日

以 上